

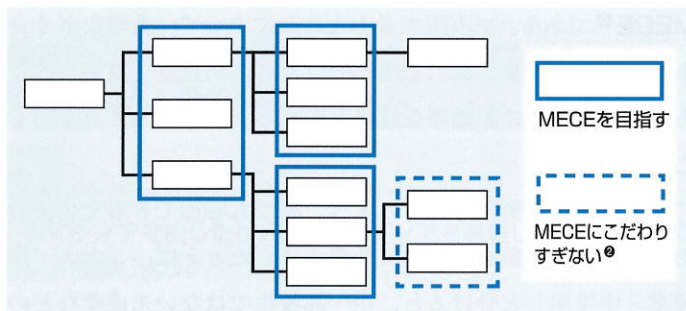
ロジックツリー

① ロジックツリー
ブレインストーミングで出した意見をロジックツリー型にまとめていってもよい。

② 第2段階目まではなるべくMECEになるように心がけよう。第3段階目以降は、細かな分類になってくるので、MECEにこだわらざる必要はない。

ロジックツリー

ロジックツリー^①とは、MECE^(→p.93)の考え方に基づいて枝葉が茂る木のような形にものごとを分解・整理していく技術である。

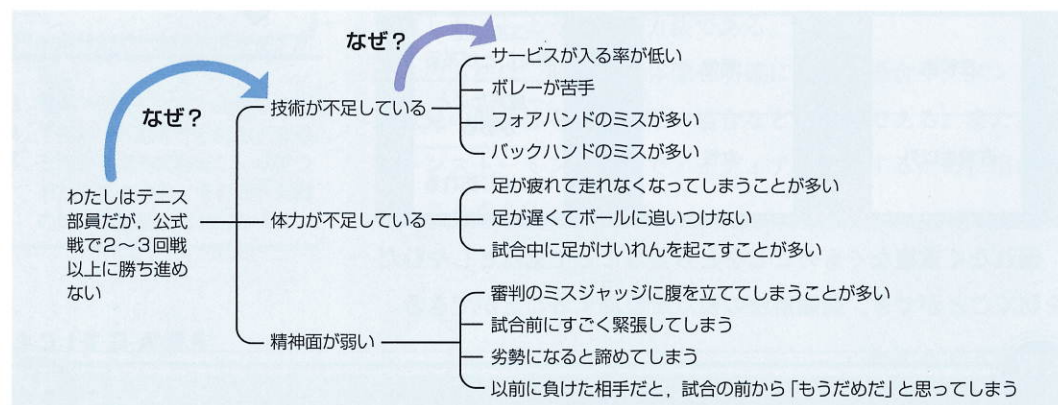


枝の形にしていくことで、それぞれの因果関係がわかりやすいし、原因や解決策を具体的に考えられる。また、MECEの考え方で分解していくことで、漏れや重複を防ぐことができる。内容によっては、完全にMECEにはできないこともあるが、MECEを目指すことで漏れや重複をなくすることができる。

ロジックツリーは、さまざまな要素を書き出すことを目的としているので、重要度の高いものと低いものが混在している。したがって、ロジックツリーが完成した後、重要度などに応じて優先順位を決める必要がある。

ロジックツリーで原因を探る

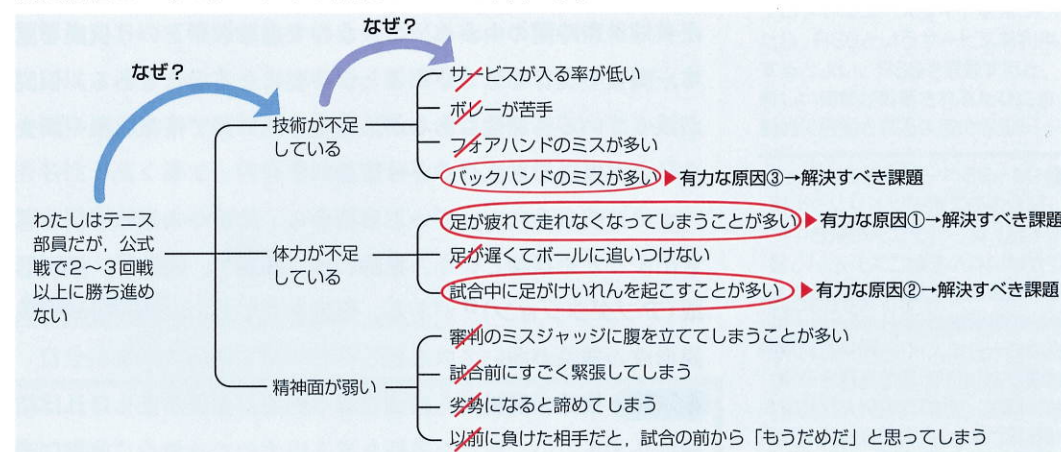
問題が起きたときに、考えられる原因は複数ある。問題解決のためには根本的な原因を突き止める必要がある。次の例を見てみよう。



テニスの公式戦の試合で勝ち進めない、という自分のかかえる問題について「なぜだろう?」と分解することで、その理由を探ろうとしている。問題が生じる理由を客観的に分析することをしないで、思い込みでやみくもに「精神面が課題」と考えて対策を練っても、ほかに原因があれば解決策にならない。

原因として考えられる項目を書き出したら、自分の試合のスコアやビデオ、先生・ほかの部員の意見をもとに振り返り「これがいちばん有力な原因」と思えるものに絞ろう。原因として遠いものから消していき、自分にかかわりの深いものの中から優先順位をつける。これらが問題が生じる原因の仮説となる。

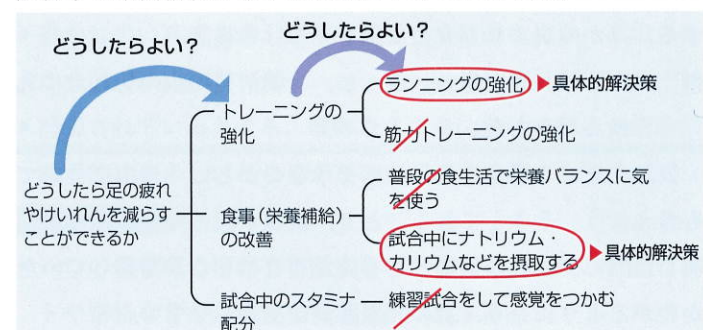
「5」



ロジックツリーで解決策を具体化する

「公式戦で勝ち進めない」原因は、「バックハンドが弱いこと、足の疲れや試合中の足のけいれんなどの体力的な面にあるようだ」ということが有力となった。ここでは、「体力が不足している」ことを最重要課題ととらえ、「どうしたら足の疲れやけいれんを減らすことができるか」の具体的な解決策をロジックツリーで考えた。優先順位をつけ、ランニングの強化と試合中の栄養補給を集中的に改善することにした。

「10」



このように、問題解決に際し、ロジックツリーを用いて要素を客観的に細かく分析していくことにより、具体的な解決策を見出すことができる。

「15」

実習 38

- 次の問題について、ロジックツリーを用いて原因を列挙してみよう。
●朝食をとる時間がない。
- 次の問題について、ロジックツリーを用いて解決策を列挙してみよう。
●高校のまわりによくゴミが落ちている。

行き詰まったら視点をえてみよう

考えが進まなかったら、問題のとらえ方を変えてみよう。

- 問題定義の変換
社会をよくしたい。
→人々が豊かになること?
→犯罪が減ること?

- 視点の変換
豊かに暮らしたい。
→経済的に? →精神的に?

- 問題領域の変換
楽しい学生生活を送りたい。
→学校で? →校外活動で?

- 前提条件の変換
朝早く起きたい。
→起こしてもらおう?
→自分一人で?

- 問題焦点の変換
優勝を目指す。
→特定の種目をねらう?
→どれもまんべんなく?

PRACTICE